

GISを用いた危機管理ツールの開発

激甚化する災害に対して災害時のオペレーションを強化するため、地理情報システム (GIS) を用いて危機管理関連情報を一元的に管理するツールの構築に取り組んでいます。

【ツール開発のねらい】

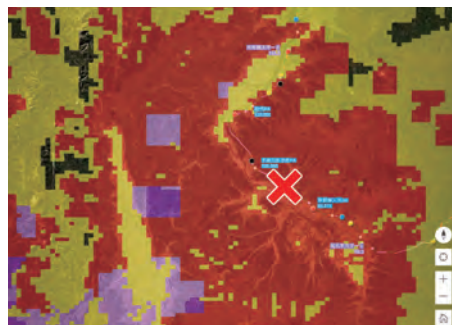
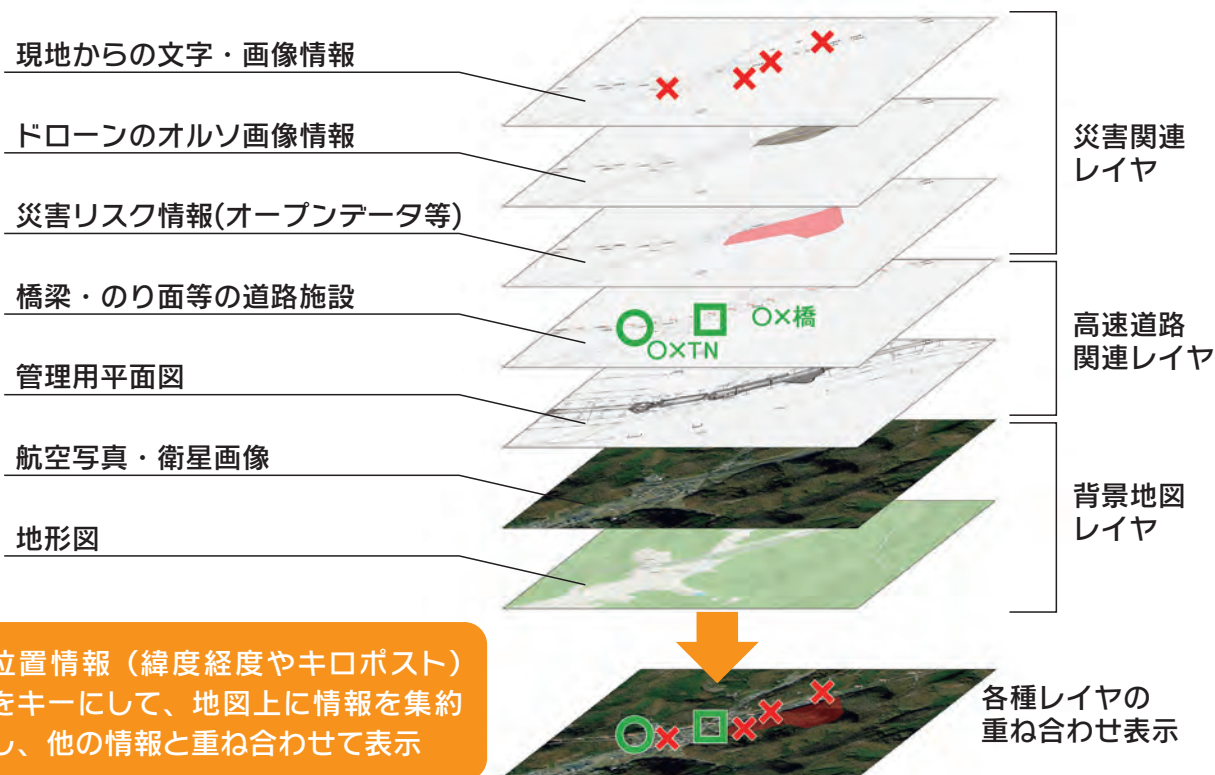
現地とのスムーズな
情報共有

情報の整理
(位置や時系列)

スマホ・ドローン等の
新しい機器への対応

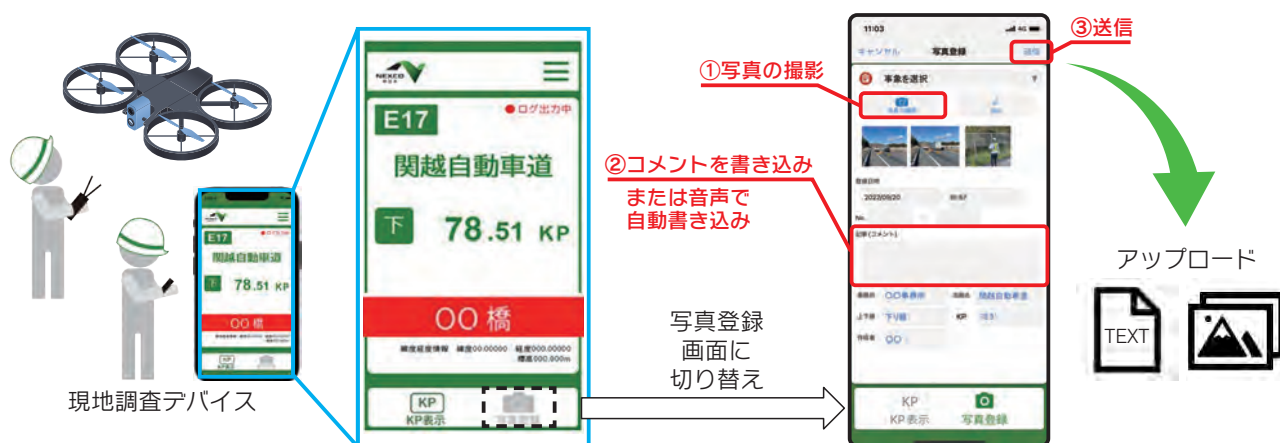
リアルタイムデータや
オープンデータの活用

GISを用いた情報の一元管理のイメージ



活用イメージ 01 現地での活用方法

- スマートフォンやドローンで収集された文字や画像等の情報を位置情報付きでクラウドにアップロードされます。



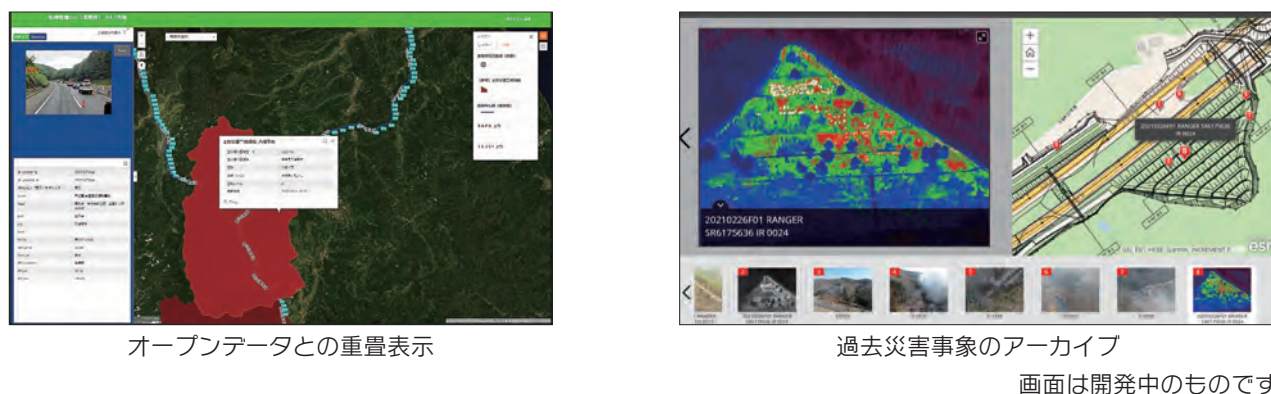
活用イメージ 02 バックオフィスでの活用方法

- 現地でアップロードした情報が速やかに地図上に表示されます。
- 広域災害時には面的な情報把握が可能となります。



活用イメージ 03 その他の活用方法

- オープンデータとの重畳表示により防災対策の検討に役立てることができます。
- 過去災害事象をアーカイブする事で、後の振り返り(防災訓練等)に役立てることができます。



お問い合わせ先 東日本高速道路株式会社 管理事業本部 SMH推進チーム

〒100-8979 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビルディング(総合受付14F)

TEL : 03-3506-0111(代表) URL : <https://www.e-nexco.co.jp>